

令和元年(平成31年) 静岡県内の公共土木施設被害 ～政令市及び市町含む～ 土木防災課所管

【概況】

5月20日から21日の豪雨をはじめ8回の異常気象で県、政令市及び市町が管理している河川、道路等の公共土木施設(国土交通省水管理・国土保全局所管(港湾・漁港・公園除く))が被害を受けた。昨年12月までに国による災害査定が実施され、30市町、335件、約116億6千万円の査定決定を受けた。このうち、10月の台風19号による公共土木施設災害は280件、約99億8千万円であった。

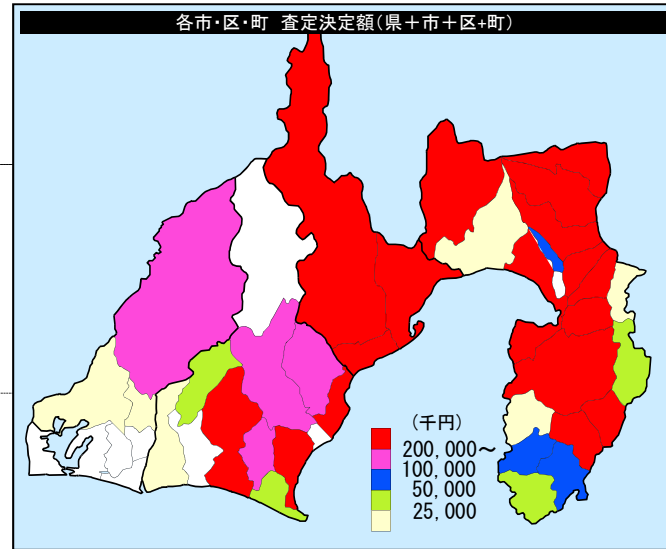
【表1】

令和元年(平成31年) 発生災害 査定結果集計(工種別)						
工種	県		市町		金額単位:千円	
	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
河川	101	4,309,648	37	668,711	138	4,978,359
海岸	6	1,060,760	0	0	6	1,060,760
砂防	24	986,577	0	0	24	986,577
地すべり	0	0	0	0	0	0
急傾斜	0	0	0	0	0	0
道路(橋梁1箇所含む)	53	1,690,655	95	1,627,059	148	3,317,714
合計	184	8,047,640	132	2,295,770	316	10,343,410

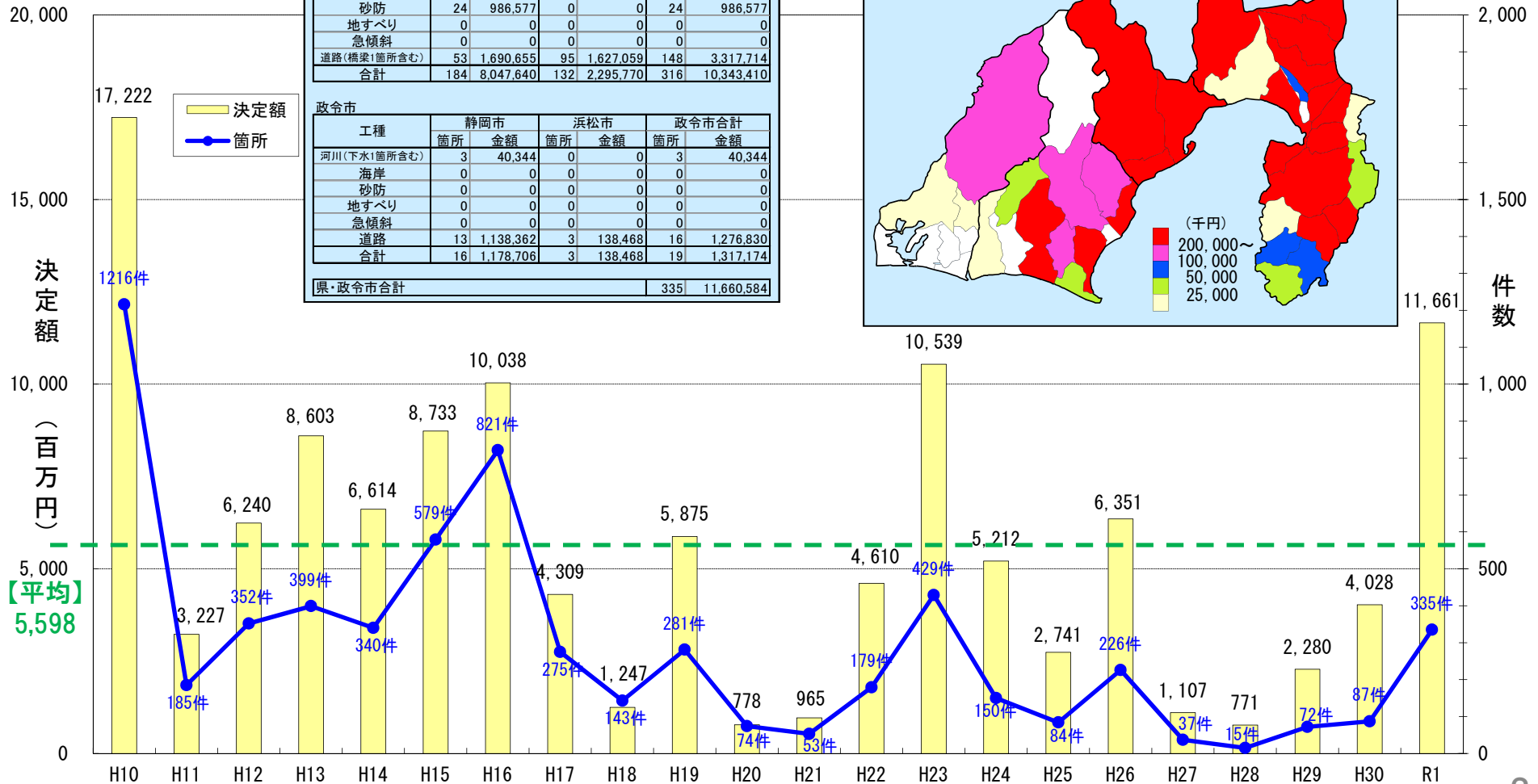
政令市						
工種	静岡市		浜松市		政令市合計	
	箇所	金額	箇所	金額	箇所	金額
河川(下水1箇所含む)	3	40,344	0	0	3	40,344
海岸	0	0	0	0	0	0
砂防	0	0	0	0	0	0
地すべり	0	0	0	0	0	0
急傾斜	0	0	0	0	0	0
道路	13	1,138,362	3	138,468	16	1,276,830
合計	16	1,178,706	3	138,468	19	1,317,174

県・政令市合計		
箇所	金額	
335	11,660,584	

【表2】



【表3】



令和元年(平成31年) 静岡県内の主な公共土木施設被害の状況～政令市及び市町含む～ 土木防災課所管

【社会的影響が大きかった災害「10月11日から10月12日の台風第19号」】

12日に伊豆半島に上陸した大型で猛烈な台風第19号により県東部を中心に激しい雨となった。同日15時30分には本県で初めて、県内6市町(熱海市、伊東市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、函南町)に対して大雨特別警報が発令された。また、伊豆市の湯ヶ島雨量観測所では、昭和33年の狩野川台風を上回る総雨量778mmを記録し、県内に9つある潮位観測所のうち石廊崎、御前崎、清水港、内浦など7観測所で過去最高潮位記録を更新した。県内の河川において堤防決壊はなかったが、2,400棟を超える浸水被害が発生した。

① 平成30年4月22日～平成31年2月1日の地すべり



⑧ 10月11日～12日の台風第19号



⑧ 10月11日～12日の台風第19号



⑦ 9月8日～9日の台風第15号



被災月日	被害原因	査定決定件数
① 30.4.22～31.2.1	地すべり	1
② 5.20～21	豪雨	10
③ 6.15～16	梅雨前線豪雨	1
④ 7.3～4	梅雨前線豪雨	4
⑤ 7.22～23	梅雨前線豪雨	7
⑥ 8.14～16	台風第10号	2
⑦ 9.8～9	台風第15号	30
⑧ 10.11～12	台風第19号	280
計	8回	335